



国際ロータリー第2500地区第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

旭川モーニングロータリークラブ 会報



ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

第1095回例会 № 09

9月の月間テーマ **基本的教育と識字率向上月間**

平成28年9月8日（木） AM18：30～20：00

本日の例会プログラム紅葉 夜間 例会

場所 暮四季

9/8は移動夜間例会 【紅葉例会】でした。武田会員の音頭で 乾杯！



*旭川モーニングRC 出席報告

*本日の出席	第1095回例会	総員	27名
	9月8日	出席	18名
		出席率	66.67%

*修正出席	第1093回例会	総員	27名
	8月25日	修正出席	23名
		修正出席率	85.19%

*ピジター	大分南RC	1名
	旭川 RC	1名
	旭川西RC	3名
	旭川北RC	1名

*メイクアップ	9月1日	井上雄樹・安井裕子(旭川東北RC)
	9月5日	脇坂慎一(北海道2500ロータリークラブ)
	9月8日	高見一典・(旭川東北RC)

ニコニコボックスご芳志者名簿 親睦委員 木村会員発表

河崎 高麗男

親睦委員会の皆さん今日はお世話様でした。少し早い紅葉例会ですがお酒をくみ交し、未来のために身も心も高揚して下さい。

林 雅美

12年ぶりにNEW CARになりました。ローンですので働きます。

会長の時間 河崎会長

ロータリーの社会的イメージ



ロータリーには100年以上の歴史がありますが、いまだに、ロータリー・クラブ（RC）がどんな団体か、何をしているのか、一般の人々には残念ながら十分には認識されていないようです。

1919年、ロータリーの創始者ポール・ハリスに取材した新聞記者が次のように語っています。

「彼（ポール・ハリス）が組織したのは奇妙な団体で、会員はその団体から何も得ないどころか、善を行うという特権を手にするために会費を払うのである」（“Huston Chronicle”1919）

社会に何か良いことを行っている奇抜な人々のようだが、よく理解できない団体だ、という認識です。

一方、皮肉屋で知られるイギリスの劇作家バーナード・ショーは、「ロータリーはどこへ行く — 昼飯を食べに行く」（1930頃）と、ロータリー・クラブの活動が例会という名の昼食会を繰り返しているだけだ、と批判しています。

こうした、ロータリーに対する世間の認識は、残念ながら現代に至ってもそれほど変わっていないようです。

国際ロータリー（Rotary International : RI）が日米を含む6か国で実施した「ロータリーの公共イメージ調査」によると、「聞いたことはあるが、何をする団体か知らない」というのが大勢の認識でした。

また、30～45歳の一般男女に対する調査で、RI、RCと聞いて最初に思い浮かぶ言葉を尋ねたら、「年配」「男性」「柔軟性がない」「エリート主義」「排他的」「秘密的」といった、ロータリアンである私たち自身の自己認識とは少し違う、古臭くあまり好ましくないイメージが指摘されました。

社会に対する、ロータリーの「公共イメージと認知度の向上」は、現代ロータリーの大きな課題ではないでしょうか。

そのためには、私たち自身が、「ロータリーの基本」すなわち、ロータリーの歴史や目的・理念、そして活動や戦略を十分に理解した上で、ロータリアンとしての基本姿勢を定めること、そして奉仕の理念を實踐する情熱の火を心に灯すことが重要です。此れからはロータリアン皆さんの地域社会への広報活動が重要視されるのではないのでしょうか。

今日は紅葉例会です親睦委員会の皆さん有難うございました。

みんな楽しく親睦を、顔も心も高揚させて未来のために行動、がんばりましょう。会長の時間を終わります。



左から林会員、川崎会長、武田会員



左から飛弾野、友重、安井会員



左から小川幹事、林事務局員、竹村会員



左から桑原、脇坂、木村会員



左から笹川、小柳、井上会員



左から石川、嵯城、林会員



左から佐々木、嵯城、桑原会員



左から林事務局、今井、嵯城、竹村、笹川会員